

令和8年度

施政方針

竹富町

目 次

1	はじめに	3
2	町政運営、施策の基本的な考え方	4
3	まちづくりの基本姿勢について	5
4	安心して産み育てられるまち	6
5	優しいまち、暮らしの安定へ	7
6	産業連関で強い地域経済の構築	8
7	災害に強いまちづくり	10
8	守る責任、次世代への継承	10
9	行財政運営	11
10	結びに	12
	まちづくりの基本姿勢に基づく主な施策	13
	まちづくりの基本政策に基づく主な施策	13

第23代竹富町長に就任するにあたり、令和8年度における私の町政運営に対する、基本的な方針を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

1 はじめに

私は、このたびの町長選挙におきまして、町民の皆様並びに関係各位の力強いご支援とご厚情を賜り、第23代竹富町長として、引き続き町政二期目の重責を担わせていただくことになりました。町民の皆様からのご信託に心から感謝申し上げますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いであり、より一層のスピード感をもって町政運営に取り組む所存であります。

本町は、多くの島々から構成される「一町多島」の自治体であります。豊かな自然環境と独自の歴史・文化が存在する一方、交通や医療、教育、産業など様々な分野において島嶼特有の課題を抱えております。近年は、少子高齢化の進行や人口減少に加え、物価高騰など社会情勢の変化が著しく、地域経済や町民生活に大きな影響を及ぼしております。また、世界に目を向けますと、国際情勢は不安定さを増し、エネルギー調達や価格の動向などが私たちの暮らしにも影響を与え、さらに、観光需要の回復が進む一方で、働き方や人手不足への対応など、地域経済を取り巻く環境は大きく変化する状況にあります。このため、町民生活の安定化と地域経済の持続的発展に向けた取り組みが、これまで以上に求められております。

このような状況の中にあっても、皆様からの負託とご期待に応えるべく、本町が有する豊かな自然環境や伝統・文化、地域資源を守りながら最大限に活用し、町民一人ひとりが安心して暮らし続けることのできる持続可能な地域社会の実現を目指し、町民の皆様とともに歩む町政運営に全力で取り組んでまいります。

2 町政運営、施策の基本的な考え方

町政運営にあたりましては、「町民主体の町づくり」「均衡ある島々の発展」「透明性の高い行政運営」この三つを基本理念として施策を推進してまいります。

町民の皆様の声を町政に反映させるためこれまでも実施してきました、「町長直行便」や「ゆんたく会（町政懇談会）」などの取り組みを継続し、地域の課題や町民の意見を丁寧に拝聴しながら施策の推進に努めてまいります。

また、行政情報の積極的な公開と説明責任の徹底を図るとともに、デジタル技術を活用した自治体 DX をさらに推進し、行政手続きのオンライン化や行政サービスの利便性向上に取り組んでまいります。

私の町長就任二期目での最優先の取り組みとして、教育機会の確保と人材育成、地域活性化を目的として、町内への高等教育機関や研究機関等の誘致に挑戦してまいります。

竹富町訪問税については、西表島の世界自然遺産をはじめとする貴重な自然環境や島々の伝統や文化、景観を将来世代へ確実に繋ぎ、増加する来訪者への行政需要に対応するため、引き続き竹富町訪問税条例施行に向けて取り組みを加速してまいります。

大原庁舎等整備につきましては、有事の際にシェルター機能を有する特定臨時避難施設や、自然災害時等の一時避難、長期避難にも対応する交流拠点施設（集会スペース）を兼ねた防災拠点施設としての計画により、実施設計を進めるとともに、町民の理解を得られるよう丁寧な説明に努めてまいります。

限られた財源の中で持続可能な行財政運営を行うため、ふるさと納税や企業版ふるさと納税など自主財源の確保に努めるとともに、民間活力の導入な

どにより効率的な行政運営を推進してまいります。

3 まちづくりの基本姿勢について

基本目標の第一は、「町民の声を聴く力、情熱をもって行動する力で町民と共に竹富町の未来をつくる」取り組みであります。

全ての町民が元気でわくわくする竹富町づくりのためには、町民皆様の声を積極的に反映させながら、一つ一つの政策を形にしていくことが重要と考えます。戦略的に政策を考え、総合的かつ横断的に喫緊の課題へ対応し、強力に施策を推進してまいります。

第二は、「町民の幸せを第一に考え、町内全域の均衡ある発展を図る」取り組みであります。

地方自治体の使命は、町民皆様の福祉の増進、幸せの実現にあります。本町には歴史、文化、伝統、自然、人といった素晴らしい資源と魅力に満ち溢れています。これらの資源と魅力の可能性を開花させ、子どもからお年寄りまで誰もが幸せになれる町を創ってまいります。その為に、職員の意識改革と行財政改革を更に進め、持続可能な財政基盤づくりを行いながら、町民福祉の向上と町の均衡ある発展を図ってまいります。

第三は、「行政情報の開示と説明責任を果たし、公平公正で透明感のある行政運営」の取り組みであります。

町長就任一期目においては、積極的に町内の島々へ足を運び、町民皆様の声、各公民館、各種団体の課題・要望を聞き、併せて町長直行便に寄せられる意見などにもスピード感を持って課題解決に取り組んでまいりました。このような情報を分かりやすく、速やかに伝えるべく、今後も広報誌やホームページ、町公式 LINE などの各種電子媒体等を活用した行政情報の提供・公開を図ってまいります。また、各公民館・各種団体と町民主体の地域づくり

を進めていくとともに、行政との連携強化により男女共同参画や地域の課題を共有できる場づくりを推進し、協働と協調のまちづくりに取り組んでまいります。

これまで、申しあげました「町政運営や施策の基本的な考え方」、「まちづくりの基本姿勢」に基づき、令和8年度の基本政策につきまして、その大要を御説明申し上げます。

4 安心して産み育てられるまち

子どもたちは本町の未来を担うかけがえのない存在であります。安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めることは、地域の持続的な発展を支える重要な施策であります。引き続き、妊産婦への移動交通費や宿泊費の支援、出産祝い金の支給、こども医療費助成などの施策を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。また、子育てに関する相談支援の需要が高まりつつあるなかこれまで以上に安心して暮らせるよう、子育て支援体制の充実を図り、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進してまいります。

児童生徒の心身の健全な発育に資するため、教育分野においては、ICTを活用した教育環境の整備を進め、GIGA スクール構想に基づく個別最適な学びと協働的な学びを推進します。また、学校給食費無償化により子育て世帯の経済的負担軽減を図り、学校給食を通して町の未来を担う子どもたちの健全な発達と食育に取り組めます。

本町の豊かな海洋環境を活かした海洋教育を推進し、海洋と一体化した島々の生活を継承・持続するため、地域の特色を活かした教育活動の充実を図ります。

他にも、スポーツや文化活動における各種大会への派遣費を支援し、併せ

て社会教育・生涯学習への機会充実に取り組んでまいります。

離島から高校へ進学する生徒への修学支援を継続するとともに、町内への高等教育機関や研究機関等の誘致に取り組み、新たな教育機会の確保と人材育成にも努めてまいります。

子育て支援をはじめ、いじめ問題への取り組みや不登校児童生徒への支援体制、子どもの貧困問題について議論する「竹富町こども未来応援会議」の充実に図り、子どもの貧困対策に向けた有効な施策を一つ一つ着実に実施してまいります。

5 優しいまち、暮らしの安定へ

地域医療における医療体制の確保は本町にとって重要な課題であります。県立及び町立の診療所が併存する本町の特性を踏まえ、同じ悩みを抱える町村等と連携しながら、医療体制の安定的な確保と医療格差の是正に取り組んでまいります。特に、オンライン診療や遠隔医療の導入・早期実現に向け、国・県及び関係機関と連携して推進するとともに、医療従事者の確保や関係機関とのネットワーク強化に努めてまいります。併せて、重症化予防や医療費の抑制を図るため、健康増進・食育の推進、特定健診の受診勧奨及び特定保健指導の充実に取り組むとともに、通院・治療に係る渡航費支援を継続してまいります。

また、高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアの推進や介護予防の充実に、担い手の育成・確保に取り組んでまいります。さらに、竹富町に根付く「ゆいまーる」の精神を活かし、多様な主体が支え合う仕組みづくりを進め、誰ひとり取り残されない地域共生社会の実現を目指してまいります。

交通・物流政策につきましては、離島航路や航空路線の維持・確保を図り、

島々の生活環境の向上に努めてまいります。世界情勢による原油価格や物価高騰の影響を踏まえ、町民の負担軽減を図るため、沖縄県と協調した船賃負担軽減事業に係る燃油サーチャージ補助を継続するとともに、引き続き、恒久制度化に向けて取り組んでまいります。

国境離島である波照間島においては、物流の要である「フェリーはてるま2」の老朽化による代替船建造のための航路改善計画の策定を行い、航路事業者の支援に取り組んでまいります。石垣港と町内各島を結ぶ物流につきましては、産業振興の後押しとなるよう町有貨物輸送船「つむぎ」の安定的な運航体制の確立に向け指定管理者とともに協力しながら、石垣市や航路事業者、その他の関係機関とも連携を密にし、町内の円滑な物流体制の確保と利用促進に取り組んでまいります。

町民の公共交通サービスの拡充につきましては、交通空白地帯の解消に向けたライドシェアへの支援や、高齢者の移動に係る経済的負担の軽減を図るとともに、石垣市内における町民専用バスの利便性向上に取り組み、通院や買い物など日常生活の移動支援の充実に努めてまいります。

海洋ごみや日常的に直面している廃棄物処理の課題に対応するため、生ごみを含めた新たな処理システムの導入に向けて取り組んでまいります。併せて、島内完結型の処理体制への転換を図ることで、環境に配慮した循環型ごみ処理の確立を目指し、国・県及び関係機関と連携しながら、抜本的な対策を推進し、生活の利便性向上につなげてまいります。

6 産業連関で強い地域経済の構築

農林水産業は、本町の地域経済を支える基幹産業であります。さとうきびやパインアップル、マンゴーなど基幹作物の生産振興や、地域農業の将来の在り方などを明確化した地域計画を基に農地の集積・集約化、基盤整備を進

め、効率的で持続可能な農業経営の確立に取り組むとともに、輸送コストの軽減や農作業の省力化、流通の効率化を推進してまいります。併せて、畜産業においては和牛繁殖基盤の強化に向け、優良母牛導入や受精卵移植の取り組みを推進し、畜産農家の経営安定化に努めてまいります。さらに、堆肥処理施設整備に向けた調査・研究を進め、家畜排せつ物の適正処理と土づくりを通じた資源循環型農業の推進に取り組んでまいります。

水産業では「浜の活力再生プラン」に基づく資源管理と利活用により、高収益化を目指し漁業者の所得向上と水産業の振興に努めてまいります。

林業では森林資源の保全と有効活用を図り、担い手育成と地域産業全体の持続的発展に取り組めます。

住環境については、町営住宅や民間活力を生かした住宅の整備、生活道路の整備など、各地域の実情・要望なども踏まえながら計画的に生活基盤の充実を図る整備を推進してまいります。

上下水道事業につきましては、公営企業会計による「経営の見える化」を推進し、経営基盤の強化を図るとともに、施設や管路の適切な維持管理と計画的な更新により、安全で強靱な水道の継承に努めてまいります。

町民の足である船舶については、船員不足による減便が町民生活や経済活動に影響を及ぼしていることから、航路事業者と連携した船員確保対策を推進し、安定した交通手段の維持に取り組んでまいります。

商工業の振興においては、新規創業支援や地産地消の推進、特産品の開発・ブランド化を通じて地域経済の循環を促進するとともに、地域商社機能の強化や効果的なプロモーションにより地場産業の発展を図ります。

観光は本町のリーディング産業として、地域経済を支える柱の一つであります。観光振興基本計画に基づき、責任ある観光の推進や経済効果の向上、自然や暮らしとの調和を図りながら施策を展開してまいります。併せて、滞

在型観光の促進や受入体制の強化を進めるとともに、西表島においてはエコツアーリズムの推進や入域管理の強化により、自然環境の保全と持続可能な観光の両立を図り、地域経済の活性化につなげてまいります。

商工業と観光業の連携をより一層強化し、相互の強みを生かした相乗効果により、地域経済の活性化を推進してまいります。

7 災害に強いまちづくり

町民の生命と財産を守ることは行政の最も重要な責務であります。

防災体制の強化や地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成や育成を支援し防災訓練の充実に取り組むとともに、防災拠点や避難施設の整備を進め、備蓄倉庫の設置と備蓄品の拡充を推進します。また、各地区における既存井戸の再生により、消火活動等への活用へとつなげる災害井戸制度の創設に取り組めます。救急搬送が多発する西表島西部地区においては、救急搬送を民間救急救命士に委託する業務を継続します。また、竹富町国民保護計画に基づき実施している沖縄県国民保護図上訓練により、有事の際における町民の避難実施要領の具体化・詳細化を図り、引き続き特定臨時避難施設（シェルター）整備に取り組んでまいります。

8 守る責任、次世代への継承

本町の豊かな自然環境は町民共有の財産であり、次世代に引き継ぐべき重要な資源です。生物多様性の保全や外来種対策、海洋ごみ対策をはじめとする環境保全施策を推進し、自然環境と地域社会の共生を図ってまいります。観光客の入域管理や西表島エコツアーリズム推進全体構想との連携を通じ、持続可能な観光受入体制を整備し、希少な野生生物の保護、竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護、地域自然資産法に基づく自然環境保全、星空保護区の

保全など、「責任ある観光」の推進に努めてまいります。また、生活環境や公衆衛生の向上、地域の環境美化にも取り組むとともに、我が国の排他的経済水域を有する本町の特性を踏まえ、海洋権益保全及び有人国境離島としての役割を果たすべく、海洋環境の持続可能な利用に向けた施策を推進してまいります。

農業集落排水事業につきましては、公営企業会計に基づく下水道事業との一体的運営により、排水処理による環境保全と衛生的な生活環境の維持に取り組んでまいります。

また、本町は日本最南端に位置し、島ごとに特色ある歴史や文化を有する地域であり、各島に伝わる伝統文化や芸能は本町の大きな魅力です。地域における祭事・行事の保存・継承にあたっては、郷友会員等の帰島支援策を検討し、共に協力しながら、伝統文化の継承・発展に繋げてまいります。さらに、歴史的景観の保全や伝統的な建造物の修理、環境整備を進めるため、歴史的風致向上計画の策定に取り組むとともに、有形・無形の文化財の保存と活用を通じ、地域文化の振興に努めてまいります。

また、姉妹町である斜里町や友好都市である対馬市との連携を深め、自然環境の保護や文化の発展に向けた交流を進めてまいります。

9 行財政運営

財政の健全化と安定した財政基盤の確立に向け、執行方法や体制、事業効果の検証・見直しを継続するとともに、議会や地域からの意見・要請にも十分配慮してまいります。町税収入は自主財源の根幹であり、国・県や近隣自治体と連携しつつ、現年度課税分の徴収や滞納額縮減に努めます。

本町の特産物や体験型返礼品を活用した「ふるさと納税」や「企業版ふるさと納税」の推進により、さらなる自主財源の創出に取り組みます。

限られた財源の中での予算配分や沖縄振興交付金・離島補助金など各種財源の有効活用、債券・基金の効率的運用に努めるとともに、公有財産の適正管理や町有地の活用も進めます。

公共施設の整備・更新では、ネットワークインフラの活用や PPP・PFI の導入、統廃合・長寿命化など中長期的視野に立った取り組みにより、経費負担の平準化を図ります。

今後も、自主財源の確保、公的施設の適正管理、民間活力の活用などによる効率的な行財政運営を推進し、持続可能で安定した行政運営の実現に取り組んでまいります。

10 結びに

以上、令和8年度の町政運営に対する基本的な考え方と基本政策について、その概要を御説明申し上げました。

これまでも、そしてこれからも、まちづくりの主人公は町民の皆様です。対話を重ね、現場主義を貫きながら、町民の皆様と共に竹富町の未来を築いていく所存です。

町民の皆様並びに議員各位におかれましては、なお一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます、令和8年度に臨む施政方針といたします。

令和8年4月17日

竹富町長 前泊 正人

まちづくりの基本姿勢に基づく主な施策

ゆんたく会（町政懇談会）

町長直行便

行政組織機構改革

自主財源の確保

（竹富町ふるさと納税・企業版ふるさと納税、訪問税条例施行への取り組み推進、債券運用等）

まちづくりの基本政策に基づく主な施策

（1）安心して産み育てられるまち

妊産婦健診・産後ケア事業（継続）

妊産婦支援事業（里帰り出産にかかる経済的な負担軽減）（継続）

新生児聴覚検査事業（継続）

乳幼児健康診査事業（継続）

母子保健事業（継続）

こども医療費助成事業（継続）

こどもが通院する場合における渡船運賃補助金事業（継続）

母子及び父子家庭等医療費助成事業（継続）

子育て支援センター運営事業（継続）

妊婦のための支援給付事業（継続）

出産祝金事業（継続）

児童手当（継続）

町外保育士等誘致支援事業（継続）

保育士等資格取得事業（継続）
ファミリーサポートセンター事業（継続）
竹富町ファミリーサポートセンター利用支援事業（継続）
一時預かり事業（継続）
黒島複合型福祉施設整備事業（継続）
相談環境構築支援事業（継続）
学力向上推進事業（継続）
竹富町ホームステイ事業（継続）
小中連携・一貫教育推進事業（継続）
海洋教育推進事業（継続）
外国青年招致事業（継続）
GIGA スクール構想支援体制整備事業（新規）
学校 ICT 支援員派遣事業（継続）
公立学校情報機器整備事業（継続）
各小中学校体育館 Wi-Fi 設置工事（新規）
小中学校トイレ洋式化事業（継続）
竹富町立竹富小中学校校舎改築工事实施設計委託業務（新規）
竹富町学校施設等個別施設計画策定業務事業（新規）
鳩間島留学事業（継続）
高等教育機関・研究機関等誘致事業（新規）
離島高校生修学支援事業・離島高校寮生修学援助奨励金事業（継続）
竹富町高等学校等進学準備支援事業（継続）
竹富町高等学生等保護者への交通費等支援事業（継続）
高度へき地修学旅行補助事業（継続）
放課後子ども教室推進事業（継続）

町外等派遣補助事業（継続）

ふるさと応援奨学金給付事業（継続）

学校給食費無償化事業（新規）

竹富町学校給食賄材料費支援事業（継続）

生涯学習振興事業（継続）

社会体育・生涯学習の充実（継続）

社会教育・生涯学習の充実事業(地域人材や教材を活用した学習)（継続）

全国離島交流中学生野球大会支援事業（継続）

竹富町スポーツ少年団交流大会（継続）

友好都市児童生徒交流事業（新規）

うなり崎公園整備事業（継続）

小浜公園整備事業（新規）

(2) 優しいまち、暮らしの安心へ

健康増進事業(各種がん検診、健康教育・相談等)（継続）

国民健康保険事業(保健事業、保険税の適正賦課及び収納対策)（継続）

介護(予防)給付事業（継続）

地域支援事業(在宅医療、介護連携推進事業、生活支援体制整備事業等)
(継続)

後期高齢者医療事業(疾病、負傷等に関する給付金の支給、高齢者の一
体的保健事業)（継続）

地域生活支援事業（意思疎通支援事業、移動支援事業、相談支援事業、
巡回支援専門員整備事業、日常生活用具給付等事業)（継続）

島しょ型福祉サービス総合支援事業（継続）

高齢者移動支援事業（渡航費助成、お出かけサポート事業、移動付添い支

援事業、路線バス負担軽減事業) (継続)

生活困窮者支援等のための地域づくり事業 (新規)

福祉事務所未設置町村による相談事業 (新規)

自立支援給付事業 (継続)

障害児入所給付費 (継続)

自立支援医療費 (更生・育成・精神通院) (継続)

重度心身障害者 (児) 医療費助成事業 (継続)

重度心身障害者 (児) 医療費助成事業 (食事療養費) (継続)

竹富町障がい者等の通院治療及び児童の障害福祉サービス利用に係る
渡航費助成事業 (継続)

八重山郡外保健師誘致支援事業 (新規)

難病患者等の通院治療に係る渡航費助成事業 (継続)

歯科医院等通院に係る渡航費助成事業 (継続)

竹富町民等交通コスト負担軽減事業 (継続)

竹富町民等船賃負担軽減事業(サーチャージ補助) (継続)

竹富町航空路チャーター運航支援事業 (継続)

竹富町離島航路運営費補助事業 (継続)

波照間航路改善計画策定委託業務 (新規)

生活バス路線確保維持対策補助事業 (継続)

竹富町軽自動車航送費負担軽減事業 (継続)

公共ライドシェア導入支援事業 (継続)

船員誘致支援事業 (継続)

自治体情報システム標準化・共通化事業 (継続)

西表島大見謝川周辺携帯電話等エリア整備事業 (継続)

オンライン相談窓口運用業務 (継続)

(3) 産業連関で強い地域経済の構築

さとうきび生産事業（継続）

もちきび生産事業(地力増進の推進、栽培技術講習会)（継続）

水稻生産事業（継続）

パインアップル、マンゴー、かぼちゃ、ばれいしょ等生産事業

(各種事業を活用した生産支援、栽培講習会、ブランド化の推進)（継続）

生食用パインアップル生産拡大事業（継続）

和牛生産推進事業（継続）

竹富町優良妊娠牛導入事業（継続）

竹富町漁港整備事業計画策定業務（継続）

竹富町水産業振興助成金事業（継続）

漁業再生支援事業（継続）

多面的機能支払交付金事業（継続）

中山間地域等直接支払交付金事業（継続）

農地中間管理事業(農地の集積・集約化)（継続）

新規畑人資金支援事業（継続）

経営発展支援事業（継続）

県営水利施設等整備事業(南風田地区)（継続）

竹富町農道整備事業（小浜地区、西表地区、波照間地区）（継続）

竹富町農業用施設整備事業（上原地区）（継続）

団体営農業基盤整備促進事業（美田良地区）（継続）

団体営農業水路等長寿命化・防災減災事業（波照間地区）（新規）

緊急自然災害防止対策事業（西表地区）（新規）

おきなわ農林水産物県外出荷促進事業（継続）

竹富町有害鳥獣捕獲奨励事業（継続）

竹富町有害鳥獣等被害防止対策設備設置事業補助金（継続）

竹富町中山間猪防護柵整備事業（継続）

竹富町猪垣維持管理事業補助金（継続）

竹富町猟銃取得促進事業補助金（新規）

竹富町鳥獣被害調査委託業務（新規）

赤土等流出防止営農対策促進事業（継続）

ミバエ侵入防止対策事業（継続）

波照間海水淡水化施設更新工事（継続）

地域優良賃貸住宅整備事業（新規）

大富団地建替事業（継続）

町道東筋2号・東筋12号線道路改良事業（継続）

竹富一周線（第2期）道路改良事業（継続）

竹富町商工会育成事業（継続）

竹富町地域経済循環創造事業（ローカル10,000プロジェクト）（継続）

竹富町織物事業協同組合育成事業（継続）

離島フェア出店助成事業（継続）

竹富町観光誘客・受入対策事業（継続）

観光危機管理計画策定事業（新規）

SNS・DXによる竹富町のオーバーツーリズム解消事業（新規）

竹富町の島々観光ガイドブック制作事業（新規）

地域活性化起業人（副業型）制度の活用（継続）

星空保護区継続事業（継続）

仲間川サキシマスオウノキ遊歩道整備事業（継続）

古見遊歩道整備事業（継続）

(4) 災害に強いまちづくり

竹富町防災強化支援事業（新規）

地域安全対策事業(交通安全意識の啓発活動の推進、強化及び防犯対策)
(継続)

消防・防災対策・国民保護

(消防団員教育訓練・自主防災組織の推進) (継続)

船浮地区可搬消防ポンプ台車セット配備事業（新規）

住吉防災拠点施設整備事業（継続）

竹富町救急救命搬送拡充事業（継続）

竹富町急患搬送用場外離着陸場機能安定化事業（継続）

防災情報一斉配信と自治会向け情報共有アプリの運用（継続）

無電柱化整備事業（小浜地区）（継続）

西表大原庁舎等整備事業（継続）

(5) 守る責任、次世代への継承

希少種等保全推進事業（継続）

生物多様性推進事業（継続）

外来種駆除対策事業（継続）

有害鳥獣捕獲活動支援事業（継続）

世界自然遺産保全管理の取り組み（継続）

海岸漂着物等地域推進事業（継続）

自然・暮らしと観光の両立のための来訪者データ統計・分析事業(継続)

生活環境の保全対策事業（継続）

竹富町観光案内人条例・エコツーリズム推進法運用事業

(西表島エコツーリズム推進協議会運営) (継続)

竹富町観光案内人制度運用支援システム整備事業 (継続)

西表島世界遺産センター整備事業 (継続)

西表島世界遺産センターに係る情報発信体制整備等事業 (継続)

竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業 (継続)

竹富島地域自然資産地域計画の運用 (継続)

地域自然資産法に基づく事業活動支援事業 (継続)

竹富島コンドイ園地整備事業 (継続)

イリオモテヤマネコ保護基金事業 (継続)

猫適正飼養推進事業 (継続)

デイゴヒメコバチ防除事業 (継続)

下水道整備事業 (竹富浄化センター) (継続)

歴史的風致時向上計画策定事業 (新規)

竹富町竹富島重要伝統的建造物群保存地区基盤強化事業 (継続)

竹富町文化財美化保全事業 (継続)

地域の芸術環境づくり助成事業 (新規)

史跡等活用整備事業 (継続)

竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業 (継続)

史跡下田原城跡土地買上げ事業 (継続)

竹富町内遺跡範囲確認調査事業 (継続)

小浜島南風田原遺跡第2地点本発掘調査 (新規)

旧与那国家住宅耐震補強工事 (継続)

竹富町デンサ節大会支援事業 (継続)

竹富町古謡発表会支援事業 (継続)

竹富町シマムニ発表会支援事業 (継続)

竹富町民俗芸能発表会開催補助（継続）

竹富町史編集発刊事業（継続）